

# 歯周病と糖尿病の深～い関係

## 講演要旨



日本大学歯学部 歯周病学講座 教授 **佐藤 秀一**

歯周病は放置しておく、やがて歯が抜け落ちてしまう怖い病気です。日本人の働き盛りの中高年の7割以上が罹っている国民病でもあることが広く知られています。一方、糖尿病の患者も国内では1,000万人以上いると報告されています。糖尿病は放置すると腎症、脳梗塞や狭心症などの命にも係わる病気に進行していきます。そして、歯周病も糖尿病も治療せずにそのまま放置している人がたくさんいることが社会問題になっています。

最近、歯周病はお口の中だけではなく、全身のさまざまな病気と深く関わっていることがわかってきました。そのなかでも「糖尿病の第6の合併症は歯周病」であることが認知され、両方の病気はお互いに深い関

係があることがこれまでの多くの研究によって明らかにされてきました。実際、糖尿病の人が歯周病に罹っている割合は非常に高く、また、歯周病に罹っている人では糖尿病が悪化しやすくなります。どちらの病気も普段の日常生活と深い関係がある生活習慣病です。

本講演では、歯周病と糖尿病の深い関係について、できるだけわかりやすく解説したいと思います。また、歯周病と全身の病気についての関係や歯周病の治療を受けることで、全身の健康回復につながるなどについてもお話ししたいと思います。今回の講演が皆様の健康増進に少しでもお役立っていただければ幸いです。

## 略歴

- 1988年 日本大学歯学部 卒業
- 2004年 日本大学 専任講師 (歯学部保存学教室歯周病学講座)
- 2006年 ミシガン大学歯学部 歯周病学講座 留学
- 2013年 日本大学 准教授 (歯学部保存学教室歯周病学講座)
- 2015年 日本大学 教授 (歯学部保存学教室歯周病学講座)
- 2021年 日本大学歯学部付属歯科病院 副病院長

## 専門医・指導医・学会活動

- 日本歯周病学会 専門医 (指導医)
- 日本歯科保存学会 専門医 (指導医)
- 日本歯周病学会 常任理事
- 日本歯科保存学会 理事